



『基本刑法I 総論』

大塚裕史ほか
(日本評論社 本体¥3900)



『基礎からわかる民事訴訟法』

和田吉弘
(商事法務 本体¥4600)



『基本行政法〔第2版〕』

中原茂樹
(日本評論社 本体¥3400)

- 4位 『肢別本7 刑事系刑法 平成26年版』
辰巳法律研究所 (辰巳法律研究所 本体¥3000)
- 5位 『平成27年版 司法試験&予備試験 短答過去問パーフェクト7』
辰巳法律研究所 (辰巳法律研究所 本体¥3500)
- 6位 『平成27年版 司法試験&予備試験 短答過去問パーフェクト1』
辰巳法律研究所 (辰巳法律研究所 本体¥3500)
- 7位 『肢別本4 民事系民法② 平成26年版』
辰巳法律研究所 (辰巳法律研究所 本体¥3000)
- 8位 『検証・安法案』
長谷部泰男編 (有斐閣 本体¥1300)
- 9位 『捜査法演習』
佐々木正輝 = 猪俣尚人 (立花書房 本体¥3048)
- 10位 『平成27年版 司法試験&予備試験 短答過去問パーフェクト3』
辰巳法律研究所 (辰巳法律研究所 本体¥3200)

幅広い品揃えを 心掛けて

泉原 真

書籍部



・今月のランキング

夏季休暇中ではありますが、熱心なロースクール生達は一足先に後期の予習に入っています。

自習用の教材として定評のある1位の『基本刑法I 総論』、民訴の定番テキストとして2位の『基礎からわかる民事訴訟法』、9位の『捜査法演習』は答案を書く力を高めるとの評価が安定した売上に繋がっています。他では時節を反映して『検証・安法案』がランクインしています。

・ランキング外の注目書籍

小泉直樹 = 田村善之編『はばたき——21世紀の知的財産法』(弘文堂 本体¥14000)は、日本における知的財産法学の創始者である中山信弘氏の古稀記念論文集で、54人の気鋭の研究者が知的財産法の展望と未来を提言しています。高価な本ですが本年6月の発

売以来、着々と売上げを伸ばしています。

・店員から

共通教育科目の授業は当豊中キャンパスでおこなわれるため、全学部の1・2年の学生さんが当店を利用されます。よって入門書から研究者用の専門書まで幅広い品揃えを心掛けています。また、教員と学生団体がおすすめの书评を執筆&展示販売し、売上げを競う「ブックコレクション」など独自色の濃い企画でお客様との接点を強化する取組みも進めています。



次号の Bookstore's Voice は
創学サービス (創価大学)